

目次

■NGOと教育現場が協働しての学習プログラム案づくり事業の概要	1
■国際理解教育のねらいと学校と地域の協働を考える	2
早稲田大学文学学術院教授 山西優二	
【学習プログラム案】	
■トラブル解決法～豊かな人間関係を築くために～(対立の解決法)	
学習プログラム案作成までのプロセス	6
学習プログラム案「トラブル解決法～豊かな人間関係を築くために～」	8
ステップ3 「船の中の大事件」の進め方	9
資料(「船の中の大事件」紙芝居台本)	10
資料(欄外情報)	11
■ホームステイおもしろ体験!～模擬体験から見える異文化～(多様性と共通性)	
学習プログラム案作成までのプロセス	11
学習プログラム案の進め方	14
資料(ホームステイおもしろ体験!役割シート(お風呂編))	15
■遠くの笑顔がここで生まれる～視点の広がりによる行動変容～	
学習プログラム案作成までのプロセス	16
学習プログラム案「遠くの笑顔がここで生まれる」	19
ステップ1 「青年Mの学び」の進め方	20
資料1(「青年M」のメッセージ) 資料2(Mの変化カード)	21
資料3(Mの変化解説)	22
■「三保谷の学び」～ボランティアにおける自主性～	
学習プログラム案作成までのプロセス	23
学習プログラム案の進め方	24
資料(ふりかえりカード、円グラフ、推理ゲームの原稿)	25
■ことばの宝石箱～言葉がもつ大きな力～	
学習プログラム案作成までのプロセス	26
学習プログラム案「ことばの宝石箱～言葉がもつ大きな力～」	29
ステップ2 「わたしたちが作る日本語教室」の進め方	30
ステップ3 「言葉のもつ魔力～あなたの言葉は宝石?それとも…」の進め方	31
資料1(エピソード)	32
資料2(ロールプレイ台本)	33
■参加者から一言	34
■学習プログラム案出張講座のご案内	36
■(財)福島県国際交流協会国際理解出張講座のご案内	37
■参加者が勧める参考図書	38
■(財)福島県国際交流協会のご案内	39